

編 集 後 記

先日とある会で 1975 年に発表された Konno procedure 発表当時のお話などを当時直接関わっていた先生方から聞く機会がありました。50 年後の現在では、世界中で小児から成人まで多くの症例に行われている、この日本人の名前のついた手術の歴史と偉大さを感じました。当時の苦労は想像もつかないほどおそらく大変で、そうした時代に手術を受けて現在に至る患者さんを診て当時のカルテを読むたびに思いを馳せてしまいます。どのような学問もこれまでの知識に新たな革新が加わることで、進歩していきます。既知のものをよく知り、そこから新たな探求を深めていくために、本学会誌の様々な分野の先生方の書かれた日本語で読みやすい総説シリーズを利用していたき、さらに若い先生方や多職種の先生方の論文投稿の場として本誌を利用していただけることを願っています。本号の発刊直前から編集委員会は新体制となり、今期も編集委員の一員として関わらせていただくこととなりました。微力ながら今後も本誌の発展に尽力していきたいと思います。

(島田衣里子)